

### 〈日本谚语〉三个臭皮匠赛过诸葛亮

这句话的意思是“三个人聚集在一起商量、就可以产生好的主意”。所谓文殊指的是在佛教掌管智慧的“文殊菩萨”（日语译音「门聚博萨滋」）。即使一个人或两个人无论如何思考都想不出的好主意，但三个人在一起商量就会（像老天爷般的）一下子给整出来。

可是，为什么不是一个人或两个人，而非得要“三个人”商量呢？的确，一个人想来想去想不出好的主意，为难时与别人商量，有时会意外地马上得到解决。这句谚语中之所以不是两个人、而要再加上一个人、一共三个人进行协商，而是表示加进第三者的客观视点，与两个

### 〈日本のことわざ〉三人寄れば文殊の知恵

「3人で集まって相談すれば、すばらしい知恵が出る」という意味です。文殊とは仏教で知恵を司るとされている「文殊菩薩（もんじゅぼさつ）」のこと。1人や2人で考えても浮かばなかった良い知恵が、3人で相談すると（神様のなされるように）あっという間に出てくるということでしょう。

ところで何故1人や2人ではなく「3人」で相談するのでしょうか。確かに1人で考えていてもあまりいい知恵が浮かばず、困って誰かに相談してみると意外にも途端に解決するようなことがよくありますが、このことわざでは2人でなく、あえてもう1人加えて3人で相談すると、第三

人商量相比会有更好的智慧。还有,也许还与三个人决定事情时、采用多数表决(至少要3人)这最少人数有关系。

那么、如果三个人以上的话会怎么样呢?几个人聚集在一起,通过就某一主题、不拘泥于既有的概念、自由地互相提出意见,来提出新的想法。这种方法被称之为发表独创性意见“brainstorming”,采用这种通过集团进行构思的单位很多。由于听自己没想起来的他人的看法,由此又引发出自己的新的看法,反过来、即便是自己觉得不成熟的想法一旦披露给别人,意外地会得到别人的赞赏,从而进一步加强自己的信心——在集团里进行交换意见就会产生这样的效果。

但是如果人数太多,届时意见得不到统一,会容易陷入意想不到的错误结果。表示这样的一种情况的谚语为:“艄公多,撑翻船(又曰:领头人多,反误事)”(日语译音「森陡偶库喜对、夫内、亚码尼弄博人」)。“船头”在这里意味着“船长”的意思、指挥的人太多的话,船会往山上开,即表示会朝着出乎意料的方向行驶。

者の客観的な視点が加わって2人の時よりもっと良い知恵が浮かぶということを表しています。また3人は物事を決める時に多数決が採れる最少人数であるということも関係しているかもしれません。

では3人以上ではどうでしょうか。数人で集まり、あるテーマをめぐり既成概念にとらわれず自由に意見を出し合うことによって新しいアイデアを出すという手法は「ブレインストーミング」(brainstorming)などと呼ばれ、そのような集団による発想法を取り入れている職場も多くあります。自分には思いつかなかったような他人のアイデアを聞くことによって自分自身もまた新しいアイデアが浮かび、一方自分では不出来だと感じるアイデアも他人に披露してみると意外に感心され、自分の自信に繋がる——集団での意見交換にはこういった効果があります。

しかしあまりにも人数が多くなると、今度は意見を統一することができず見当違いの結果に陥ってしまいがち。そんな状態を表すような「船頭多くして船山に上る(せんだうおおくして ふね やまにのぼる)」ということわざもあります。「船頭」はこの場合「船長」の意味で、指図する人間が多いと船も山を登る、つまりとんでもない方向に向かってしまうことを意味しています。